

令和7年度 第3回 犬山市地域公共交通会議 議事要旨

日時：令和7年12月19日（金）午後2時～

場所：犬山市役所2階 205 会議室

出席者：19名中17名

1 開会

【事務局】 開会の挨拶を行う。

2 あいさつ

【磯部会長】 挨拶を行う。

【事務局】 犬山市地域公共交通会議の委員数19名に対し16名が出席で、本日の会議が成立していることを宣言する。

傍聴者（2名参加）について、説明を行う。また、代理出席、配布資料について説明を行う。

市議会の関係で舟橋委員が遅れて参加する旨、報告する。

議会からの視察があるかもしれない旨、報告する。

3 議事

【磯部会長】 議事に先立ち、本日の議事録署名者を指名。今枝委員、小林委員にお願いする。

（1）協議事項

①令和7年度犬山市地域公共交通会議予算（案）について

【事務局】 資料1の説明を行う。

予算案と併せて、監事の選任についてもお承認いただきたい。会計事務が適切に行われているかの監査を2名お願いしたい。過去の経緯から、市民代表の委員から1名、交通事業者の委員から1名をお願いしている。今回は市民代表として宮川委員、交通事業者として宮部委員にお願いできればと考えている。実際の会計事務は全て事務局で行い、監事の仕事は決算の際に書類や通帳を確認し、ご署名いただくことになる。

【磯部会長】 事務局から提案があった、宮川委員、宮部委員、よろしいでしょうか。

【宮川委員】 （承諾）

【宮部委員】 （承諾）

【磯部会長】 予算案と監事選任について、ご質問はありますか。

事務局の原案通り承認することよろしいか。

【委員】 異議なし。

【磯部会長】 予算案と監事選任、共に承認された。

②令和7年度事業における地域公共交通確保維持改善に関する自己評価（案）について

【事務局】 資料2-1～3の説明を行う。

【原田委員】 2点確認したい。1点目、資料2-1の⑤善師野・塔野地線の目標効果達成状況が「B」となっているが、利用者数はプラスになっているので「A」ではないか。
2点目、資料2-3の7ページにあるタクシーの取り組みについて、わん丸君バスの利用にどのような相乗効果をもたらしたのか、具体的に把握されていれば教えてください。

【事務局】 1点目の資料2-1の記載はミス。利用者数が増加した路線は「A」、減少した路線は「B」とする基準なので、ご指摘の通り修正させていただく。
補足で、資料2-1と資料2-3で利用者数の数値が異なっている点について説明する。資料2-1は国の様式で、事業年度（10月～9月）で記載する必要がある。資料2-3は市の計画に合わせた計画年度（4月～3月）で記載しているため、集計期間のズレによる差異が生じている。

2点目のタクシーとの相乗効果について、具体的な調査などはしていないが、例えば、内田線で犬山城までバスで行き、帰りはバスの便が少ないためタクシーを利用する方がいると聞いている。タクシーの利便性が向上することで、市内に来やすくなり、行きはバス、帰りはタクシーといった多様な使い方が促進され、間接的にわん丸君バスの利用にも影響していると考えて記載した。

【磯部会長】 集計期間が異なる点について、資料に注釈を追記してはどうか。

【事務局】 そのように対応する。

【磯部会長】 自己評価は結果にどう対応するかが重要である。準備している再編に結果を反映させていくべきである。その他に、もっと盛り上げていくために事務局で考えていることはあるか。

【事務局】 交通だけで考えていくのは難しく、商業施設などとの取り組みや、老人会や交通婦人会などの団体とのコラボなど、複数の関係者での取り組みを増やしていければ、利用促進に繋がり、公共交通が盛り上がると思っている。

【磯部会長】 他に質問がなければ、本件について、指摘箇所の修正等は会長に一任いただく形で承認ということでよいか。

【委員】 異議なし。

【磯部会長】 全員一致で承認された。

③わん丸君バス再編について

【事務局】 資料3-1～3の説明を行う。

【磯部会長】 アクロスプラザ扶桑の2階バス停へは、エレベーター等は設置されているか。

【事務局】 エレベーターとエスカレーターの両方が設置されているので、足が不自由な方でも移動は可能である。

【今枝委員】 同じ箇所で、スロープを上がっていくルートだと思うが、降雪時など、坂道の安全は大丈夫か。

【事務局】 確かに雪の日の心配はある。隣の扶桑町が運行するデマンド交通も同じく2階に停留

所を設けており、早朝など店舗が開いていない時間帯は1階に停車していると聞いている。バスで同様の対応が可能か、運行事業者や施設管理者と調整し、天候によって臨時的に停留所の場所を変更できるか確認する。

【原田委員】 どのような形なら対応できるか確認する。

【磯部会長】 特殊な状況なので安全面の確認をお願いする。
他に質問がなければ、この路線案を承認するという事でよろしいか。

【委員】 異議なし。

【磯部会長】 全会一致で承認された。

④公共ライドシェア（日中）の実施について

【事務局】 資料4の説明を行う。

【夫馬委員】 週3日はわん丸君バスが運行し、週2日はライドシェアが運行するとのことだが、この2団地以外のバス停を利用する人はどうなるのか。

【事務局】 楽田東部線自体は今まで通り平日毎日運行する。ライドシェアを実施する2日間は、当該団地のみを通過するルートで運行するイメージ。
週2日にした理由は、当該団地では独自で買物支援を実施しており、その曜日と祝日がよく重なる月曜日を除いて2日間とした。

【夫馬委員】 倉曽公民館から団地に行かずに打越へ、内久保集会場からつつじヶ丘に行かずに田県神社前駅へ行くという事か。

【事務局】 そのとおり。ダイヤが余ると思うので、駅で調整しようと考えている。

【磯部会長】 当該団地では自発的に買物支援活動という実態があり、それに合わせて実証実験を行うエリアに選んだ理由のひとつか。

【事務局】 わん丸君バスの代替と考えたときに、わん丸君バスの利用が低い地域から選んだ。実態として、倉曽団地は2日に1人、つつじヶ丘団地は1日3人乗るかどうかの利用率。目的地までの所要時間がかかることが乗車の少ない理由ではないかと聞いている。今回の実験が良い結果となり、例えば毎日公共ライドシェアで運行することとなれば、わん丸君バスのダイヤ短縮にもつながる。

【原田委員】 他市でも同様の取組みをしているが、曜日によって運行形態が変わることは利用者にとって分かりにくい点でもあるため、周知が非常に重要だと思う。

【今枝委員】 往復予約は可能か。

【事務局】 往復での利用を想定している。ただ、帰り時間は病院の診察などで読めない場合もあるため、予約の締め切り時間など、具体的な運用方法は今後調整していきたいと考えている。

【小林委員】 これは乗り合い形式か。

【事務局】 デマンド型なので乗り合いである。出発地の団地で複数の方を乗せ、順番に目的地を巡っていく動きを想定している。

【磯部会長】 1つの交通システムで市全体のニーズを叶えるのは無理な話。地域の実情に合わせて、様々な交通手段を用意していくことが重要。このライドシェアは、そのための準備であり、新たな道具を持つためのチャレンジだと捉えている。予約の手間などの課題は

あるが、地域と連携しながら解決策を探っていく必要がある。
この計画を進めていくという方向で承認ということでよろしいか。

【委員】 異議なし。

【磯部会長】 承認という事で進めてもらう。

(2) 報告事項

①紅葉ルートバスの利用実績について

【事務局】 資料5の説明を行う。

【磯部会長】 多くの観光客が来られたようだが、交通渋滞などは発生したか。

【事務局】 特に大きな渋滞は発生していないと聞いている。対策としてモンキーパークの駐車場を一部開放したことや、わん丸君バスについても臨時便を運行し、満車で乗れないお客様に対応したことが効果的であったと考えている。

②その他

【鈴木委員】 愛知県の MaaS の実証実験の終了を報告。
次回の会議で結果を報告したい。

4 閉会

【事務局】 閉会の挨拶を行う。次回会議の案内をする。
令和8年3月27日（金）10:00～実施する。

以上

本書は、令和7年12月19日に開催された犬山市地域公共交通会議の議事要旨に相違ないことを証する。

令和 8 年 1 月 1 4 日

署名人 小林 裕之

署名人 今枝 稔幸